

1. 「ESD(持続可能な開発のための教育)」とは？

ESD=Education for Sustainable Developmentの略。

持続可能な社会づくりの担い手を育むため、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分で考え行動を起こす力を身に付けるための教育です。

2. 「国連ESDの10年」(UNDESD)について

(United Nations Decade of Education for Sustainable Development)

- 2002年 ヨハネスブルクサミットで我が国が提案
- 2002年 国連決議(第57回総会)
 - ・ 2005～2014年の10年
 - ・ ユネスコを主導機関に指名
- 2005年 DESD国際実施計画をユネスコにて策定
- 2009年 ESD世界会議(ボン)
 - ・ ボン宣言の採択
- 2014年 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議(愛知県・名古屋市/岡山市)
 - ・ あいち・なごや宣言の採択
 - ・ ユネスコ/日本ESD賞の創設

3. グローバル・アクション・プログラム(GAP)について

- 2013年 第37回ユネスコ総会にて採択
- 2014年 第69回国連総会にて採択
- 2015年～2019年 グローバル・アクション・プログラム(GAP)に基づいたESDの推進

4. ポスト・グローバル・アクション・プログラム(post-GAP)に向けて

- 2018年 第204回ユネスコ執行委員会にて「2019年以降のESD(持続可能な開発のための教育)」にかかる決議を提案
ESDの将来に関する加盟国協議(バンコク)
 - ・ post-GAP枠組みの草案を議論
- 2019年 第206回ユネスコ執行委員会にてpost-GAP枠組みの草案提出(予定)
第40回ユネスコ総会にて採択(予定)
第74回国連総会にて採択(予定)

